

第5回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第5回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時	平成26年12月5日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	長野県安曇野庁舎4階 401会議室
4	出席者	降旗会長、伊藤副会長、市川委員、高橋委員、保尊委員、那須委員、望月委員、丸山恭弘委員、丸山庄一委員、降旗幸子委員、中山委員、山崎委員、青木委員、藤原委員
5	市側出席者	藤松総務部長、花村総務管理課長、鎌崎総務管理課長補佐、丸山行政担当係長、伊藤主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	2人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年12月12日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (伊藤副会長)
- (2) あいさつ (降旗会長)
- (3) 協議事項
 - ① 第4回会議録の確認について
 - ② 第3次大綱策定について
- (4) その他
- (5) 閉 会 (伊藤副会長)

2 審議概要

- (1) 第4回会議録の確認
- (2) 第3次行財政改革大綱策定について

【答申書(案)の修正】

○P3「2 行財政改革大綱の必要性」

・普通交付税の記載がありますが、何年度から段階的に減額されていくか具体的に年度を入れていく方がよいのではないかと。

→「平成28年度から段階的に…」と加筆する。

○P4「視点1 ①総合計画のマネジメント」

・「計画策定の際には、達成目標数値と達成期日の明確化を図ると共にマイルストーンを設け、定期的な管理を実施して確実な達成を図っていくことが必要である。」という文言をいれていただきたい。

→総合計画の中に目標値が入っており、事業評価を実施する中で、ある程度達成数値目標を持ちながら、事業評価を行っているところではある。

→視点4 行財政改革の推進の中で、PDCAサイクルによる進捗管理というところがあるので、このサイクルを回していけばチェックできていくかと思う。

→PDCAサイクルは短期間で回すのが原則。視点4のPDCAサイクルの表現では、サイクルを一度転がせば良いという印象になってしまう可能性があるため、「毎年」や「短い期間」という意味合いの文言を入れた方がよいのではないかと。

→PDCAサイクルの期間について、資料編の方へ戦略として記載するという形ではいかがか。

→あまり答申書の中に具体的すぎる内容を入れすぎると、題目がぼやけてしまう恐れがあるので、答申書の表現は今のままでよいのではないかと。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

⇒以上により、上記波線の文言は答申書(案)には加筆しないこととしたが、資料編の中にP D C Aサイクルに関して「定期的」のような文言を入れることに。

○答申書(案)P4 「視点1 ②人口減少抑制策と自主財源の確保」

・最終行の「企業育成・誘致を進め…」という文章を以下の文言に変更していただければどうか。
変更案：「①企業誘致の促進と移住・定住の促進をはかり、税収面の確保を図ることが必要である。」

→答申書の方は包括的な表現にしたいという気持ちがあるので、具体的な内容については資料編で委員の方々の意見をできるだけ集約して、記載するというのはいかがか。

→移住・定住という文言は、資料編の中には記載があるが、答申書の中には出ていないので、入れていただいた方がよいのではないか。

→視点1②人口減少抑制策と自主財源の確保に、「住んでみたい」まちづくりという文言があり、移住・定住という意味合いがここに含まれているのではないか。

→視点1②人口減少抑制策と自主財源の確保について、出生率の低下が全ての問題の病巣だとすると、出生率に関して目を向けてもらうために、「出生率をあげるための具体的かつ実行性のある施策の検討や…」というようなインパクトのある文言を入れてはいかがか。

→検討という言葉は検討をすればよいのではないかという印象を受けます。検討したらすぐやってもらわないと。実施とか実戦という言葉に変えてはいかがか。

→検討という言葉では、検討だけで終わってしまうので、数値目標を明確にした方がよいのではないか。

⇒視点1②人口減少抑制策と自主財源の確保に、インパクトのある表現が入るよう等、事務局と相談し、後日、案をお示しする。

○答申書(案) P4「視点1 ②人口減少抑制策と自主財源の確保」

・「2040年には全国の半数の自治体が消滅するとの推計も出される…」とあるが、この推計は安曇野市で出したものではないので、出典を明らかにした方がよいと思う。

→「P7おわりに」の方にも「広辞苑」と出典を書いておりますので、同じく上記についても出典を入れるようにする。

○答申書(案)P4 「視点1 まちづくり「戦略的な公共経営」

…他の自治体との差別化を図りながら…とあるが、差別化という表現が、市民の方にわかりずらかったり、他の自治体との連携ということもあると思うので、「周辺自治体との連携を図りながら、安曇野市として比較優位な特色を生かしたまちづくり」としたらいかがか。

→差別化という表現は文章の一人歩きになる可能性があるのでは、違う言い回しに変えた方がよいのではないかと思う。

→差別化という表現は語弊があるかもしれないが、良い意味での差別化ということで「ブランド化」という表現はいかがでしょうか。

⇒差別化という表現は変更して、「比較優位」や「ブランド化」という表現にする。

○答申書(案)P5 「視点2 コミュニティ「協働による地域づくり」①「区」の充実」

「市も積極的に対応していく」とあるが、協働という意味で、「市民も」という文言を加えた方がよいと思う。

→市と区は対等な立場で両輪となって取り組むというのが一つの方針で、区の方が未加入者の加入促進に取り組んでおり、今まで市の関りが停滞していたという意味で発言した。区は既に取り組んでおるので、市に任せきりという意味に取られないように、「区と共に」という文言を入れていただきたい。

→「区と共に」と限定してしまうより、区に加入していない人も含めた「市民と共に」という表現の方がよ

いのではないか。

→「市民と共に」としてしまうとおかしくなってしまうと思う。区は現在、区のあり方のマニュアルを作っているところである。市民は区の中の一部であるので、区の充実ということで加入促進を懸命にやってきた。未加入者の加入促進ということに限って言うと、市は積極的に促進をしていただけなかったことから、前回私は発言をしたので、やはり「区と共に」ということでお願いしたいと思う。

→事務局の趣旨とすれば、区や市民には一生懸命活動してもらっているんだけど、市も積極的にということでの案を作成していると思う。原文のままが良いのではないか。

→現在区のあり方マニュアルを作成して全戸配布するように区長会で活動しているが、区はもともと任意団体である。そのパートナーとして両輪でやっていく中で、市も同じように努力をしてもらいたいということがあるので、「区と共に」をお願いしたいと思う。

→おっしゃるとおり、市ももっと積極的に関りながら区の充実を図るべきだという意見をもとに案を作った。その中で今回充実という「区と共に市も市民も」というような表現にしていけばいいか。

⇒「区と共に市も市民も」という文言に修正。

○答申書(案)P5 「視点3 ①職員の育成」

「遵法に関しては、遵法管理の仕組みと教育の充実を図るとともに、内部・外部の監査を実施し、問題の発生の皆無を目指す必要がある。」というような、遵法という意味合いの文言を入れていただければ、と思う。

⇒資料編に具体的に記載するということがか。

○答申書(案)P5 「視点3 ①職員の育成」

行政改革に対する関心が薄い職員が多いという記述があるが、アンケート調査結果等々を見ると、行政改革の捉え方がまちまちということであって、関心が薄いというよりも、自分の給料がどんどん減らされていくということや、自分の職がなくなるのではないのではないかとということには関心が高いので、行政改革に対する危機意識が一律でないということなのではないのかと思う。職員が読んだ時に、発奮する表現であるということならば、今のままの表現で良いかと思うが。

→発奮してもらいたいという気持ちも込めている。また、同じような気持ちでP6「視点4 行財政改革の推進」の最終行に「覇気」という言葉を使っておるので、これもあわせて意見を出していただきたい。

→以前いただいた資料編12のP11に、行政改革に対するイメージのところ、「行政改革は引き続き続けていくべきか」という項目に「そう思う」「どちらかというそう思う」としている職員がほとんどである。ということは、意識があると考えた方が良いのではないか。

→P10の「第二次行財政改革大綱実施計画の内容について知っていますか」というグラフだが、一通り知っている53、担当業務に係る部分は知っている220、存在は知っている307、知らない67だから、これはやはり関心が薄いということなのではないか。

→視点4の「覇気」という言葉は少しわかりづらいと思う。覇気という言葉はただ元気を出してやれば良いという印象。例えば「気概と意欲」等の表現もあるのかと思う。

→職員に問題意識を持ってもらいたい。与えられた仕事をこなすだけでなく、問題意識を持って仕事をすれば課題も見つかる。「問題意識を持って」というのもどこかに入れていただきたい。

⇒「視点3 ①職員の育成」の「関心が薄い職員が多い。」は原文のまま。

「視点4 行財政改革の推進」の「覇気」という表現は「気概と意欲」という文言に修正。「問題意識を持って」という文言をどこか適切な箇所へ挿入する。

○答申書(案)P5 「視点3 ②公共施設の再配置」

・合併してからの市の公共施設の土地は全て買取という形になっている。合併前の町村においては、初期投資を抑える意味もあったと思うが、相当大きな施設の土地も借地となっている。施設の再配置のところへ「公共施設の借地での対応の解消も含めて」といった意味の文言も入れていただければありがたいと思う。「さらに永続的に負担を強いられる、公共施設に係る借地については、計画的に解消を図るとする」という文言を加筆していただきたい。

→あまり具体的なことを言うよりも資料編で具体的に触れた方がよいのではないかと。

→土地という観点で入れてもらえれば、借地の問題も含めることができるのではないかと。「用途変更或いは廃止を積極的に英断を持って進める必要がある。」のあたりに上手く含められればよいのかと思う。

→「建物、土地」という文言を入れれば先ほどからのお話を表すことができるのではないかと。

⇒微妙な部分があるので表現を工夫しながら、意を外れないように提言するというに。

○答申書(案)P6 「視点3 ④情報の適正管理とIT改革」】

「セキュリティのチェック」でなくて、「セキュリティの強化と職員に対する教育を定期的実施する。」とした方がよいと思う。また、「効率的な行政運営を行っていく上においてIT技術を利用することも検討する必要がある。」とあるが、「効率的な行政運営を行っていく上において、積極的にIT技術を利用することが必要である。」と言い切った方がよいと思う。

→経済産業省から情報セキュリティ強化についてお達しが出ており、ITを使うというのは非常に大事な要素なので、入れていただければと思う。

→「一番先に「情報管理」は行政運営上大きな課題である。」と大きい題目を表記した方がよいと思う。

⇒上記意見のとおり文言を変更する。

○答申書(案)P7 「おわりに」

この答申書はあくまで市(市長)に向けてのものだと思うが、最後の2行は市民に向けたものという印象を受けるので、ワンクッション置いて、「市民も批判型でなく前向きな提案型の発信をしていただきたい」という市民への啓蒙を市からお願いするような形ではいかかか。

→上から6行目の「…改革には、手が回らなかったといえる。」はさぼっていたというような印象を受けるので、もう少し柔らかい表現が良いのではないかと。合併が「負」というように取られないかという懸念があるのだが…。

→「負」というのは対等合併の「負」ということ。吸収合併ならば吸収した側の制度等に從えば良いだけの話だが、対等合併は非常に民主的なやり方になるのでマイナス部分を表すために、手が回らなかったと記載したのだが、「十分に手が回らなかった」等の少し柔らかい表現に。

→合併の部分の直すとしたら、「対等合併の」ではなく、「対等合併による」負の部分とした方がよいのではないかと。

⇒「対等合併による」へ修正。

→安曇野市が合併する時に我々が掲げたスローガン「輝け安曇野」は、今やかすれてしまった。「輝け安曇野」に、もう一回市全体が目に向けられるような内容をどこかに入れていただきたい。また、下から4行目の「多少の痛み」は、改革には痛みが伴うので、「多少」を取ってもよいのではないかと。また、「輝け安曇野」にもう一度目に向けて、理事者だけでなく市民全体が痛みを受けようというような言い回しはいかかか。また、市長がおっしゃるコンパクトシティーに向かうということもどこかで触れていただければと思う。

⇒委員の皆さまからのご意見により、多少の痛みの多少は取るということで、コンパクトシティーと輝け安曇野については、入ればどこかに挿入するというので、事務局と相談。

→上から7行目の「合併時には考えも及ばなかった人口減少社会」とあるが、合併の年の2005年に総務省統計局から国勢調査で、「我が国の人口は、減少局面に入ったと見られる」と出されているので、「考えが及ばなかった」とするのは、知っている人からすればおかしいと思われるかもしれない。

→おっしゃるとおりこの時代には人口減少がわかっている。あえてここに入れるとしたら、考えが及ばなかったというのは、こんなに速いスピードで人口減少が起こることがということだと思っているので、「加速化する人口減少」という言葉を入れればよいのかと思う。

→安曇野市に限って言えば、人口減少は加速化していない。何も対策しなければ将来人口減少が起こることは

わかるので、「考えも及ばなかった」というところが気になる。

→この文章とすれば、「合併時の予想をはるかに上回る」という文言に変えていただければよいのではないか。

⇒「予想を上回る」や「加速化」という文言に変える。

○答申書(案)資料編

資料編については、また本日いただいた意見を加えたいと考えておるので、他にご意見ある方は個別に事務局の方にご連絡下さい。

○全体を通して

資料ごとの文体等の統一をお願いしたい。

⇒「ですます調」に統一。